

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	バンダキッズ元町		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 1日 ~ 2025年 12月 27日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数) 12
○従業者評価実施期間	2025年 12月 1日 ~ 2025年 12月 27日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別療育と集団療育時間の確保	集団療育では、認知・運動能力の向上を図るとともに、社会性などの自分以外の他者との関わりをメインに活動内容の立案を行っている。 個別療育の時間は、各個人が最も課題とする内容を訓練出来るよう、集団療育との差別化を図っている。	各児童の現状を職員間で共有し、発達の最接近療育をベースに活動内容を考慮していく。
2	保護者と連携を取った支援計画の作成	事業所内だけの様子で支援計画を作成するのではなく、家庭や幼稚園・保育園などの関連施設での様子も考慮し、保護者様と現状課題を確認しながら支援計画を作成する。	保護者様との信頼関係を図り、支援計画作成の為に面談の際には、児童の課題・成長した部分などを共有・確認出来る環境を作る。
3	固定化した活動と変動的に行う活動の充実	節分やハロウィンなどの季節に合わせた行事を固定化して行うとともに、日々の療育内容は固定化しないよう、目的と目標に合わせて内容を職員間で相談しあう。	保護者様や地域の方々との交流の場を設定し、事業所外の人との関わりを増やす。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	研修時間の確保	オンラインでの研修は設けているが、実技研修など、勤務時間内に研修に赴く時間を割くことが難しい。	業務の効率化を図り、勤務時間内の余暇時間を確保する。
2	保護者や地域の方々との関わり	コロナ過以降、保護者会や地域の方々との交流会が出来ていない。	数名のグループに分けての保護者会など、感染症対策を考慮しながら、交流の場を増やしていく
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	バンダキッズ元町					公表日	2026年 2月 25日			
					利用児童数	20		回収数	12	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応			
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	12			十分な活動スペースが確保されています。	今後も十分な活動スペースを確保できるよう、配慮します。			
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	11	1		手厚いと思います。	神戸市の基準を満たしています。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	10	2		絵カードが使用されていたり、線が引いてあったりと、子どもたちが過ごしやすい空間になっていると思います。	子どもたちが目で見てもルールが分かる環境を整えています。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	12			清潔です。	定期的な清掃の他、空気清浄機や加湿器、エアコンを利用して過ごしやすい環境を整えています。			
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	12			子どもの特性に合わせて、様々な工夫して頂いています。	集団療育の他、個々の発達度合いに合わせて個別療育も行っています。			
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	11	1		合っていると思います。	5領域に沿って、療育を行っています。			
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	11			1	発達に合わせて個別支援計画を作成されています。	今後も保護者の方と課題整理を行い、よりよい計画書作成できるように努めます。		
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	12					今後も保護者の方と課題整理を行い、よりよい計画書作成できるように努めます。		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	12				声掛けなど、様々な工夫をして取り組んで頂いています。	職員間で新しい課題についても細かく周知徹底し、支援に繋げられるようにしています。		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	12				遠足など、様々な活動を取り入れて頂いています。			
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	2	2	2	6		関連する保育園や幼稚園と交流する機会を設けられるよう努めます。		
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	11			1	利用に関して気になることを相談出来ました。	契約前には、出来る限りお子様同伴の上で事業所を見学頂き、支援プログラムなどを見て頂くと共に、運営規定などの説明も行っています		
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	12				内容を項目ごとに丁寧に説明して頂いています。	保護者の方が必要とされる支援ができるように努めます。		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	8		2	2		送迎時や面談時以外にも、保護者の方々が療育の相談や情報を得られる機会を作れるよう努めます。		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	12				送迎時に活動の様子をお話頂いたり、連絡帳に詳しい様子を書いて頂いています。	送迎時や連絡帳を使って日々の様子や課題を伝え、共通理解を深めています。		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	12				電話でご相談に乗って頂いたりなどしています。	定期的な面談の他、電話や送迎時に家庭での支援について相談に乗っています。		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	12				いつも感謝しています。	保護者の方の想いに寄り添い、支援を行っています。		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	2	4	4		来年度から保護者会が行えるよう調整中です。		
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11	1			相談事など、すぐに対応して下さいます。	契約時に相談窓口の説明は行っています。また、随時相談は責任者が窓口となり行っています。			

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	12				急な休みの連絡にも対応していただき、助かっています。	営業時間外も急な体調不良やご相談にご対応させて頂いております。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	11	1			インスタや月ごとのお便りを楽しんでいます。	個人情報の扱いに注意しながら、日々の活動の様子を定期的にお伝えさせていただきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	11			1		引き続き、個人情報の取り扱いには細心の注意を行い管理します。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9			3	定期的に避難訓練を行っています。	保護者に対して災害時の手紙を配布しています。避難訓練の実施に関しては広報誌で周知しています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	10			2		毎年訓練計画通りに、訓練を実施しています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	10			2		安全計画について周知し、職員間で定期的に計画マニュアルの確認を行っています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	9			3	ケガなどがあった際は、送迎の際に説明を受けています。	速やかに保護者に連絡を取り、説明と対応方法を伝えています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	12				毎日楽しそうに通所して、元気に帰ってきます。	職員との信頼関係を築き、安心して通所して頂けるように努めています。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	12				前日から楽しみにしています。	様々なプログラムを準備し、子ども達の興味関心が広がるように取り組んでいます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	12				楽しく通っていて、成長も感じられるのでとても満足しています。	保育園にお送りする際にも、保護者の方に今日あったことをメールでご連絡するなど取り組んでおります

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	バンダキッズ元町			公表日	2026年 2月 25日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		運動遊びと机上遊びの空間を分けて過ごせるほど、十分な広さがあります。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		配置基準を満たしています。子どもたちの状態に合わせて、基準以上の職員配置を行っています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		<input type="radio"/>		建物の構造上、外階段やトイレ前の段差があります。階段昇降の練習や段差を意識して歩く等の訓練になっている為、バリアフリー化が必要なタイミングで設備の見直しを行います。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		毎日の清掃・消毒を徹底しています。また、活動内容に合わせて室内の明るさを調節しています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		集団活動外でも、子どもたちが集中して個別療育に臨めるスペースを確保しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		毎週決まった時間にミーティングを行い、業務の改善に努めています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		面談や送迎時に保護者様から頂いた相談事などを、定期的なミーティングや連絡ノートで共有しています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		毎週決まった時間にミーティングを行い、業務の改善に努めています。また、ミーティング時間外でも各職員が意見を出し合える環境を作っています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>		外部からの評価は受けていませんが、必要に応じて連携していきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。		<input type="radio"/>		動画やオンラインでの研修など、療育時間外の業務時間に出来る研修を受けられるようにしていますが、実技研修などの実地研修が行えるよう取り組んで参ります。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>		全職員に公表内容、公表場所を周知しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		職員間で各児童の発達状況を確認し、課題を整理して計画書を作成しています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		現場の職員と一緒に発達状況と課題について話し合い、計画書の作成を行っています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		ミーティングの時間に、作成された支援計画の共有が行われています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>		発達段階を標準化されたツールで確認し、共通認識しています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>		必要な項目を細かく確認し、具体的な支援内容を設定出来るように話し合いをして作成しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>		週案を作成する際、職員間で相談しあうようにしています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>		過去の週案や年間スケジュールを参考に、活動が固定化しないよう週案を作成しています。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		週1回程度個別療育の時間を確保し、その子に必要な訓練を行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		勤務時間・送迎時間の都合上、毎朝打ち合わせをすることは出来ない為、連絡ノートを使って職員間で必要な情報は共有できるようにしています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		勤務時間・送迎時間の都合上、支援終了時間後に全員で打ち合わせをすることは出来ない為、連絡ノートを使って職員間で必要な情報は共有できるようにしています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		日誌・個別支援記録を書くようにしています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		保護者とのモニタリング前に、職員全体での支援計画に対しての状況把握をしています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		管理責任者が関連機関とやり取りし、必要に応じて状況を理解している者も参加するようにしています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			かかりつけ医、保育園、小学校などと交流する機会は少ないですが、必要な時に連携が取れるよう努めています。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		必要に応じて連携を取り、情報共有を行っています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		放課後デイサービスと情報を共有し、小学校や特別支援学校と連携を取っています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○			必要時には連携します。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		公園利用時に挨拶をしあったり、一緒に遊具を共有して遊ぶことがあります。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		送迎時や連絡帳を使って、日々の様子や課題を伝え、共通理解を深めています。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			日々の送迎時や面談など以外でも、ご家族が参加出来る研修の機会を作れるよう努めています	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約の際には時間を確保し、契約書や運営規定についての説明を行っています	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		可能な限り直接活動の様子を見て頂く時間を確保し、その後に支援計画についての面談を行うようにしています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		5領域を意識した課題と支援内容を項目ごとに細かく説明し、同意を得ています	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		相談時には迅速に対応し、相談内容によっては面談や関係機関と連携を図っています。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		来年度から保護者会を再開できるよう、予定の調整を行っております。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		相談時には迅速に対応し、相談内容によっては面談や関係機関と連携を図っています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		広報誌とインスタグラム、ホームページで必要な情報と、日々の活動内容の発信を行っています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・写真を使用する際は、ダブルチェックをしています。 ・個人情報が記載されているものに関しては、鍵付きのロッカーに保管しています。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		言葉の理解が難しい場合には絵カードを使用するなど、お互いが適したコミュニケーション方法を使用するようにしています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		ハロウィンなど、行事の際に近隣の施設の方と交流を行っています	
	非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・毎年各マニュアルの更新を行い、避難訓練や防犯訓練を子どもたちと一緒にしています。 ・訓練後にはお便りを配布し、家族への周知を行っています。
46		業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		毎年訓練計画通りに訓練を実施しています。また、必要な物や水の備蓄もあります。	
47		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		お菓子を購入する際には、アレルギーとなる物が入っていないかを確認し、提供時にも確認しています。	
48		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		主治医の記入した書類の保管を行い、全職員が確認できるようにアレルギー対応一覧表を掲示しています。	
49		安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		年度初めに安全計画を作成し、計画に沿って安全管理研修や避難訓練を行っています。	
50		子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		緊急時の連絡方法など、書面で配布を行っています。	
51		ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットがあった場合は、詳細を職員間で情報共有し、今後の改善点等の話し合いを行っています。	
52		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		全職員が定期的に研修を受けています。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		全職員が定期的に研修を受けています。		